

代 表 者 大沢えみ子 様

視察者(代表)氏名 橋本亜矢

視 察 報 告 書

このことについて、次のとおり報告します。

- 1 期 間 2024年 1月 23日～ 年 月 日 (泊 日)
- 2 視 察 先

川越市

- 3 調 査 事 項

配偶者暴力相談支援センターについて

- 4 視察参加人数 3 人
参加者は次のとおり

大沢えみ子

衣川千代子

橋本亜矢

- 5 調 査 概 要

別紙のとおり



会派視察報告書

川越市配偶者暴力相談支援センター視察

2024年1月23日

日本共産党狭山市議団

◇視察の目的◇

○女性相談の現状についての調査を行い、狭山市の女性支援・男女共同参画事業へ反映したい。以下の事項等を確認し、今後の参考としたい。

- ・現状どのような相談が寄せられているのか
- ・年間の相談件数は？
- ・相談員の体制は？
- ・直面する課題は？



◇研修の報告◇

・女性支援相談の窓口は、月～金 9:00～17:00 【業務の主な内容】

- ・ 緊急時における安全の確保
- ・ 保護する施設についての情報提供等
- ・ 相談又は相談機関の紹介
- ・ 自立して生活していくための情報提供等
- ・ 保護命令制度の情報提供等



- ・ 職員5名、女性相談員3名での相談体制・市役所庁舎内にある相談室で受けている
- ・ 女性相談員採用の際の資格は特に設けてはいないが現在職務に当たっているのは社会福祉士やカウンセラー資格保持者で知識が備わっている
- ・ 相談者で最も多い年代は40～50代
- ・ 身体的な暴力だけではなく、精神的な暴力も近年増えてきている
- ・ コロナ禍から特に相談件数も増加傾向である
- ・ 市内のステップハウスなどの施設を持つ民間団体と連携している

◇視察を終えての所感◇

配偶者暴力と絞って対応をしていることの利点が活かされた事業であり、狭山市でも積極的に取り組む必要があると考える。また最長の相談者は現在8年に渡るとのことで、長期的に継続的な支援を行っていくことが重要であることを学んだ。証明書の発行など、可能なことから狭山市でも取り組んでもらえるよう今後、要望を行っていきたい。

相談日が毎日あることは、市民にとっても有益であると考えられる。配偶者暴力相談支援センターの存在を知ってもらい、相談に来てもらえるように努力をしているとの事。先進例として参考にしたい。